

**日本共産党**

**森本ふみお**

**後援会ニュース**

2008年  
8月20日

No.64

日本共産党森本ふみお後援会事務所

井原市木之子町2721-23

TEL62-6061 FAX62-6081

の初も 市国な 化せ 弁 るだ民 り長る た底 と協 反  
皆やめら横民的 有・て八はご日ーに今組は啓今年。した。滝本市議は、質問しました。また、事業所を訪問し、分別の徹底をお願いしては、  
さりう浜のなて料資い月返みの程と減年のた今、お願たい議会では「ごみ減量の年度別目標を立て、住民や事業所に、  
、を料めは担向まし化すのが報き量めしつ月。新たい議会後施策の「ごみ減量の年度別目標を立て、住民や事業所に、  
ごも化地、だでうてをが「ま化、まい議今たい議会後施策の「ごみ減量の年度別目標を立て、住民や事業所に、  
みつ有域有けす、も真、一にデいせ計連した協でも施策の「ごみ減量の年度別目標を立て、住民や事業所に、  
有とり説料が。ま一にデいせ計連した協でも施策の「ごみ減量の年度別目標を立て、住民や事業所に、  
料研き明化お有た、的解リらで実自が、し、広の「ごみ減量の年度別目標を立て、住民や事業所に、  
化究で会しつ料、的解リらで実自が、し、広の「ごみ減量の年度別目標を立て、住民や事業所に、  
にすはをなか化不にしッた。具単長はら全う減量だより合は、密な方針提示を「ごみ減量の年度別目標を立て、住民や事業所に、  
つべなたいぶし法減もには、。体的に全う減量だより合は、密な方針提示を「ごみ減量の年度別目標を立て、住民や事業所に、  
いきくびでさた投棄するうい家庭ごみのは、密な方針提示を「ごみ減量の年度別目標を立て、住民や事業所に、  
いで、た徹てうがるうい家庭ごみのは、密な方針提示を「ごみ減量の年度別目標を立て、住民や事業所に、  
の。有び底てうがるうい家庭ごみのは、密な方針提示を「ごみ減量の年度別目標を立て、住民や事業所に、  
ご。料やしくま増れどにせのり料化につ。これでは市民に減量  
意見を下記電話等へお寄せください。

**皆様のご意見をお聞かせください**

# 井原市が料が化を進め考えている

## 井原市政に対するご意見・ご要望をお寄せください。

井原市議会9月定例会は、9月8日(月)が開会予定日です。この議会に向け、皆様の声を聞きながら質問の準備をしています。

皆様のご意見・ご要望が1つでも多く実現するよう奮闘したいと考えています。井原市政や上記ごみ有料化についてのご意見・ご要望を、お近くの党員か下記の電話・FAXにお気軽にお寄せください。

- 日本共産党後援会事務所 TEL62-6200 FAX 62-6209
- 森本ふみお宅 TEL62-6061 FAX 62-6081
- 石井 敏夫宅 TEL62-4667 FAX 62-4726

周りの人に「日本共産党森本ふみお後援会」への入会をお勧めください。

**Q & A 日本共産党 知りたい・聞きたい**日本共産党  
のHPより**「終戦記念日」というのは？**

〈問い〉8月15日を支配層は「敗戦」をきらい「終戦記念日」とよぶようにしたと私は先輩から教えられたので、「敗戦」のほうが真実だと思いますが、どうなのでしょう。  
(横浜市・一読者)

〈答え〉中国東北部への侵略開始(1931年9月)以来15年におよぶ侵略戦争は、1945年8月14日、御前会議でポツダム宣言受諾を決定し連合国側に通告、翌8月15日正午、昭和天皇が国民に向けてラジオ放送、9月2日、東京湾内のアメリカ軍艦ミズーリ号上で降伏文書に署名して、終わりました。占領期の1951年ごろまでの新聞紙上では9月2日を「降伏記念日」と呼んでいましたが、その後は、天皇のラジオ放送が行われた8月15日を終戦記念日とし、政府主催の全国戦没者追悼式もこの日に開かれています。

この8・15を「終戦記念日」というのか「敗戦記念日」というのかには、個人、立場の違いによって、さまざまな思いや意見があって、一律に決められるものではなく、使われる意図と文脈によって適切かどうか検討されるべきだというのが私たちの考えです。

8・15は、侵略を推進した天皇制政府と戦争推進勢力にとっては、まさに「敗戦の日」です。ポツダム宣言は「日本国国民を欺瞞(ごまん)し之をして世界征服の挙に出づるの過誤を犯さしめたる者の権力及勢力は、永久に除去せられざるべからず」と明記し、不正義の侵略戦争を断罪、侵略戦争推進勢力の責任を鋭く問いました。このことをあいまいにできないことはいうまでもありません。



しかし、「敗戦」の用語のほうがどんな場合でもふさわしいかといえ、そうともいえません。

戦前・戦中の日本国民は、新聞やラジオ放送などによる虚偽の報道、世論誘導などによって、侵略戦争の実態をまったく知らされないまま強制的に戦争に動員されました。ですから、国民にとっての8・15は、戦争によって肉親や自分自身の命を奪われる心配がなくなった日でもありました。「終戦記念日」という言葉が一般的に使われているのは、戦争が終わり平和な時代への区切りとなった日を端的にあらわすものとしてだといえます。

さらに、戦前・戦中の日本においても、日本共産党のように、日本の戦争を侵略戦争と見抜き、それをやめさせるために、過酷な弾圧に屈しないでたたかった人々もいました。侵略戦争反対のためにたたかい抜いた人々にとって8・15は、たたかひの正しさが証明された日でした。朝鮮の人々にとっての8・15は侵略者から解放された日「光復節」なのです。

**ご意見・ご要望および情報をお気軽にお聞かせください。**